

10年後の金沢の 姉妹都市交流 を提案する

☆提案内容

「知る」ための活動と、「行く」ための活動を提案する。

① 姉妹都市交流について知ってもらうために。

- ・ポスターを作成し、市内の様々な場所に貼る。(特に駅など)
- ・チラシを作成し、市内の学校や施設で配る。(年に1~2回ほど)
→ポスター、チラシの内容
 - ・姉妹都市とは何か
 - ・交流の利点
 - ・どのような交流を行っているか
 - ・経験者の話
 - ・私たちにできること
 - ・交流時の注意
 - など
- ・「姉妹都市交流推進条例」(仮)などを定める。
- ・学校の授業として年に3時間ほど姉妹都市についてや日本、金沢市の文化について取り扱う。

② 実際に交流を行うために。

右のような形での交流を目指す。現地に行く
現在でも同じように交流が行われているが、希望者だけでなく全員に交流を楽しんでもらうために、青少年交流の活発化を提案したい。

- 現地に行く — a 希望者のみ (留学など)
- 日本で行く < b 希望者のみ (イベントなど)
- c 全員に機会 ← New (校内活動)

a: 交換留学を現在よりもさかんに行う。

b: 現在よりも多種多様なイベントを行う。

↳市民のニーズに合ったイベントを行う。

c: 市内の学校に通う生徒のうち、小学校5年生、中学校3年生の2回、姉妹都市の同年代の生徒たちとビデオ通話で交流できるような機会を、学校ごとに設ける。

⇒ 10年後、姉妹都市交流を現在よりもさかんにし、輪を広げていくための提案。

※ 姉妹都市を「増やす」という考えも浮かんだが、莫大な費用がかかる上、他地域の深いつながりかよきにくくなるため、今回の提案は姉妹都市の数、友好関係は現在と変わっていないものと仮定する。

10年後の金沢の おみやげ" を提案する

☆提案内容

◎ 名称・キャッチコピー

金沢市民から募集する。

- 理由:
- ・ より多くの人口のアイデアを取り入れることで、より印象的であり、よりウットに富んでいたりする名称・キャッチコピーをつけることができると考えたから。
 - ・ 発売前には金沢市民に「おみやげ」の存在を知ってもらい、より速く情報が拡散され、他都道府県の観光客の商品の認知度を上げるため。

◎ 商品内容

ミラーチーズケーキ (バインドチーズケーキ)

- 理由:
- ・ バインドチーズケーキにすることで、賞味期限を他のケーキと比べて長くすることができ、「おみやげ」として選ぶやすくするため。(1週間程度)
 - ・ ミラーにすることで、パッケージの模様と合わせて美しい見た目にするこができる。伝統色の赤に金箔をあしらうことで「金沢らしさ」を表現することができる。と考えたから。

◎ パッケージ

加賀てまりをモチーフとし、赤のケーキと合わせて美しい模様となるもの。

- 理由:
- ・ 加賀てまりの美しい模様をあしらうことで、より「金沢らしさ」を出すことができる。と考えたから。
 - ・ 第一印象のインパクトを大きくすることで、記憶に残り、また「買いたい」と思ってもらえるきっかけとなると考えたから。

◎ 価格

3000円程度

- 理由:
- ・ バインドチーズケーキの相場もやや高め。ミラー部分はそれほど高価な材料を使用しないが、金箔を使用するため。価格を安くすることにはつながらなくても、売り上げに支障はないと考えたから。

10年後の金沢の観光のためのIT活用方法を提案する

☆提案内容

Free Wi-Fiの設置場所を増やし、
金沢市の公式観光アプリを開発する。



① Free Wi-Fiの設置場所を増やす

現在、金沢市には8つの観光地にFree Wi-Fiが導入されている。しかし、有名な兼六園などは導入していない。実際、兼六園に導入してほしいという意見がアンケートを行う中であった。

② 金沢市の公式観光アプリを開発する

アンケートを行うと、インターネットで調べた人は、金沢市について事前に調べてあり、Free Wi-Fiがあることを知っている人が多いことが分かった。Free Wi-Fiを使って何をすることが多いか聞くとSNSを使う人が多く、観光地への行き方を調べる人が多かった。あらかじめ調べると、金沢市には公式の観光アプリがないことが分かった。よって、正確な情報を提供してくれる公式アプリが必要だと思った。

▶▶ 搭載したいような機能 ◀◀

- JRや北鉄などの時刻表
- 観光地のくわしい情報
 - ↳ 手打 町の名前の由来や、金沢市と深い関わりのある出来事、町あるまじき楽になるような情報
- ARなどの活用
 - ↳ 写真や映像などで過去の風景がうつる、など
- 金沢弁教室
 - ↳ いろいろな方言の表現、言いまわしを集めてみる。
 - 例) さんかたんずんずん
 - 道路が凍ってツルツルしていること。

- 郷土料理紹介
 - ↳ 郷土料理の紹介と、どこが食べられるレストラン、レシピ紹介

次々と新しい機能をアップデートしていく、利用者をあきさせない工夫ができると思う。

金沢の公式観光アプリを広く利用してもらうためには、Free Wi-Fiの設置場所を増やしていくことが重要だと考える。

10年後の金沢の **バスシステム** を提案する

☆提案内容

- ・ バスを自動運転にする
 - … 現在自家用車にも自動運転の技術が取り入れられていることもあり、これからは自動運転が普及してくると思う。なので10年後にはバスでも自動運転が可能になっていると思うので提案する。この中にAIものをせたりすることもできると思う。
 - ゲートを車内に入るとき、出るときに通過するようにして料金を払う

- ・ バスはハイブリット車にする
 - … 長い距離を走るバスだからこまめにガソリンに変えると環境にいい。また燃費も良くなるわけだからガソリン代が減る
 - ※ 11月29日に1ステップバスを22両導入した
- ・ バスはすべて1ステップバスにする
 - … 少子高齢化が進む中で高齢者の利用者の割合は増えると思う。なのでより乗り降りしやすい1ステップバスを増やすべきだと思う。

自動運転 **バス** 車体 電子マネー 駅

- ・ 交通用電子マネー「Suica」をiCaの代わりに!
 - … バスの料金の支払いを電子マネー「Suica」でもできるようにする。

- ① 料金支払いの時間を短縮できる。
- ② 都会での通勤に「Suica」を使っている人が金沢に来たときにそのまま使える。いつでも残高の確認も可能。

Apple Pay (iPhone決済) を使えます

発行枚数: 6398枚
Edy, WAONに次いで3位

Suica

関東などの都会で交通用電子マネーとして定着

他の電子マネーではできない定期券の役割

- ・ AIによる観光客の案内
 - … ペッパーによる観光客の案内がされていたこともある。(博多駅で) 今は第三次AIブームが起きていることから、これからはAIが主流になる。
- ① 外国人の対応もできる。
- ② 観光客に観光地の情報も伝える
- ③ 観光客、通勤者などの人数や、使用路線などの情報を集めることができる
- ※ 案内窓口の所に設置する

10年後の金沢の国際化のスポットを提案する

☆提案内容

◎外国の人にやさしい金沢の町づくりを目指して◎

スーパーマーケットの外国語表記はあまり見つかからない

現状1

- 金沢では多くの観光スポットへ外国人を案内し導くために、ペッパー君などによる、機械化を進めている。
- 観光スポットでは、魅力をアピールするために、パンフレットに外国語表記を多く用いている。

提案1

国際化のスポットとはいえないが、スーパーマーケットやガソリンスタンドなど、日常生活に近い場所の外国語表記をもっと増やすべきだと思う。そうすることで、観光のみならず、外国の人にとって住みやすく、より国際化した町になると思う。

現状2

- フィールドワークでは、

バスの走行中は、危険ですので、お立ちにならないで下さい。

「Do not stand up while the bus is running because it is dangerous.」という表記が、バス内で見つけることができた。また、この表記は、英語、中国語、韓国語でかかれており、多くの方に伝わったと思う。そして、外国の方へのインタビューからも、6人中4人がこの表示を見たことがあると言っており、ちゃんと伝わっていることを知れた。この表記は、けがを防ぎ、危険なことを伝えることで、安全にバスに乗ってもらうためのものであるため、どの国籍の人にも分かるかき方にすることで、安心・安全になると思った。

国際化によって、より多くの方が安全に過ごせる!!

提案2

☆ バスの表記のような危険な場所の外国語表記での呼びかけを増やす。

【例1】 英 Because stairs are easy to slippery, at the time of rain, please be careful.
(雨の時は、階段が滑りやすいので、お気をつけ下さい。) ... 駅の階段に。

【例2】 英 Because there are many streets of the car, please be careful.
(車の通りが多いので、ご注意ください。) ... ひがし茶屋街のパンフレットに。

この2つの例は、バスの表記と同じように、中国語や韓国語でも表すと良いと思う。しかし、インターネットで金沢を訪れる外国人の国籍を調べると、台湾がトップであった。台湾で使われる、福建語(小ヶんご)は中国語の方言だが、台湾の中である。この言語を使う人が多いため、中国語もいくつかの種類を入れるとより多くの人に伝わる注意書きになると思う。

感想

今回のフィールドワークでは、ひがし茶屋街でのインタビューで、アメリカやイギリス人はわかりやすいため、次は、中国語などを話す、アジア系の外国の人にもインタビューできたらいいです。私の考えた2つの提案が10年後の金沢に反映されていければいいと思います。世界に通用するグローバル化した金沢になるといいです。

実際フィールドワークでひがし茶屋街にいくと、車の通りが多く、少し危険を感じた。

10年後の金沢の

外国人観光客のための

売店・お土産屋の情報伝達ツール

を提案する

☆提案内容

① 外国語表記を増やす

↳ 表記(案内板など)の数だけでなく、書いてある外国語の種類を増やす。

☆メリット☆

- ・外国人観光客にとって理解しやすいものである
- ・全ての人が目にする事ができる

☆デメリット☆

- ・外国人観光客の知りたい内容が全て書かれていないと限らない
- ・伝統的な町並み・景観を壊してしまう恐れあり

③ パンフレットの多言語化

↳ 限られた言語だけでなく、多くの言語で書かれたパンフレットを作る

☆メリット☆

- ・英語・韓国語・中国語など、すでにパンフレットで用いられている言語を話せない人たちでも理解しやすくなる

☆デメリット☆

- ・使ったとしても、利用する人が少ないためである。
- ・多くの言語を用いると、パンフレットの大きさが大きくなってしまう

↳ 解決策 ~ パンフレットが大きくなるように ~ 話す人の多い言語のパンフレットと少ない言語のパンフレットを分けて別々に作る

④ 通訳案内士を置く

↳ インフォメーションデスクなどに、外国人観光客が困っている時に同行して助けることのできる通訳案内士を教員置く

☆メリット☆

- ・外国人観光客の人が困った時に、その場で直接対応できる
- ・金沢に訪れた日本人観光客の人であっても、日本語で対応することができる

☆デメリット☆

- ・通訳案内士が話せない言語が必要になった場合は対応することができなくなる。
- ・外国語を話せる人というのはなかなかおらず、集めるのが難しい

実際、ICTを利用したサービスによる地方創生を期待して、導入する地域が増えている。NTT西日本がこういった活動を促進している

② 外国語を話せる従業員を増やす

☆メリット☆

- ・町並み・景観を壊す恐れがない
- ・外国人観光客の知りたいことをコミュニケーションでスムーズに伝えられる

☆デメリット☆

- ・外国語を話せる人というのはなかなかおらず、集めるのが難しい
- ↳ 解決策 ~ 外国語を話せる人を育成するために ~ 従業員に語学研修の場を設ける

⑤ ICTの導入

(1) コミュニケーションロボット
建築物内を案内することができ
るロボットを置く

ICTとは
通信技術を使った
コミュニケーションのこと

☆メリット☆

- ・コンピュータ処理のため、対応が迅速である
- ・多くの言語をプログラムしておけば、どの言語を話す外国人観光客の人にも対応できる
- ・動いて案内できるようにすれば、より確実に外国人観光客に情報伝達ができる
- ・外国人観光客のみならず、金沢に訪れた日本人観光客の人でも利用することができる

☆デメリット☆

- ・導入するための資材費・管理費・維持費にかかるお金が多い → それ以上の利益が見込めないと導入する価値がなく、続けられない

(2) 多言語通訳サービス

① 電話通訳サービス

↳ 企業、外国人観光客の人、多言語通訳センターが連携し、電話でつながることで情報伝達を行う。

② TV電話通訳サービス

↳ タブレット端末で、外国人観光客の人が多言語通訳センターの職員と、映像を見ながら会話する

☆メリット☆

- ・外国人観光客の人が困ったときにその場で直接解決することができる。
- ・通訳があることで、パンフレットなどよりも、対応がはやく、外国人観光客の知りたいことを伝えられる。

☆デメリット☆

- ・事前にこのサービスのことを外国人観光客に知っておいてもらわなければならない
- ・導入するための資材費・管理費・維持費にお金がかかる

10年後の金沢の交通系ICカードを提案する

☆提案内容

交通系ICカードを アプリケーションにして統一!

1. 交通系ICカードを統一化

全国の様々な鉄道会社で発行されている Suica
ICOCA などの交通系ICカードを一つに集約す
ることで利便性を増幅させもっと多くの人
に利用してもらう。

2. アプリケーション化

スマートフォンが普及している現代においてアプ
リケーションという形でその流れに便乗し、もっ
と利用してもらう。

3. 提案するにあたって

・コスト面

今ある交通系ICカードも残していくことで
今以上の収益が見込める。

・安全面

今 apple pay というアプリケーションが普及し
つつあるので、それと同じようなシステムに替
ることで安全面には問題はないと思われる。

10年後の金沢の加賀友禅の在り方を提案する

☆提案内容

🌸 提案1 浴衣に加賀友禅を利用すべし



理由 浴衣は着物に一番近い存在でありながら、着物よりも手入れや着付けが簡単で若い人にも人気があるから。

🌸 浴衣に加賀友禅を利用することの

短所	長所
<ul style="list-style-type: none"> ○ 値段が高くなる ○ 少し色落ちする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着物よりも手軽に買える ○ 手入れが楽になる

Q 実際、浴衣に加賀友禅の技法を使うことは可能なのか？

A 可能です。（加賀友禅作家の森田先生より）

ただし、最近では、加賀友禅をプリントした商品も多いため、本当の技法を使った浴衣は売れにくいかもしれない。

🌸 提案2 金沢市全体として加賀友禅を着る機会を増やすべし

近年、金沢では着物を着て街を歩いている人の姿を良く見かけるようになりました。しかし、その人達の大半は観光客であると予想されます。

また、私達は普段、着物を着る機会がほとんどなく金沢市の伝統工芸なのに、市民からも遠い存在となっている気がします…。

そこで、

- 加賀友禅のファッションショー
- 必ず加賀友禅を着て出席する会議 など

金沢市全体として加賀友禅をもっと身近な存在にしていくべきだと思います。



現在でもこのようなコンテストが行われています。

10年後の金沢の外国人にも日本人にも優しい観光を提案する

☆提案内容

外国人にも日本人にも優しい観光とは…?

外国人は観光しやすく、日本人は外国人観光客にも案内しやすい観光のこと。

提案1… 景観を損なわない日本や金沢の伝統を生かした外国語表記を増やす

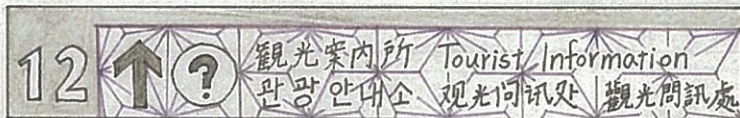
～外国人・日本人へのインタビューより～

外国人 → 日本語を話すことはできないけれど外国語表記を見て理解することができる。

日本人 → 外国語表記はもと教を増やした方が良い。

でも金沢は景観を重視しているので簡単に変えるわけにいかない。

～外国語表記の具体例～



和の模様や和の色を使った外国語表記

金沢駅内のトイレ(今は日本語表記・音声のみ)、金沢駅内、観光地、交通の案内など外国語表記がないところ・増やした方が良いところに設置。

提案2… 日本でのマナーやルールについてのパンフレットを発行し設置する

～外国人へのインタビューより～

・くつをぬいで部屋にあがるという文化の違い、トイレに困った。

・料理の注文に困った。

→ 多分、和式トイレだと思う。

～マナーのパンフレットの内容～

・和式トイレの使い方

・箸の使い方

・おすしの食べ方

・部屋に上がる時はくつをぬぐ

・バスの乗り方

(外国人に1番人気の和食で食べる観光客も多いと思うので便利)

・ゴミは分別して捨てる

・左側通行

・知っておくと良い日本語(ありがとう、ごめんなさい、いただきます、ごちそうさまなど)

・トラベル日本語会話(外国人が日本語を話してくれれば日本人も案内しやすい)

～マナーのパンフレットの設置～

金沢駅内(観光案内所)、バス内、観光地、レストラン・和食料理店など食事ができる場所、ホテルなど観光パンフレットと一緒に置く。(デジタルパンフレットとしても)

ポイント 本ならば日本のマナーやルールについて書かれているものはたくさん売られていると思う。観光パンフレットと一緒に置き、無料で持ってもらうことでより観光しやすくなると思う。

10年後の金沢の 伝統的町並み を提案する

☆提案内容

伝統的町並みとは...?

- ・ その地域の伝統と特徴が表れている町並み
- ・ 近代的な建物が目立たない

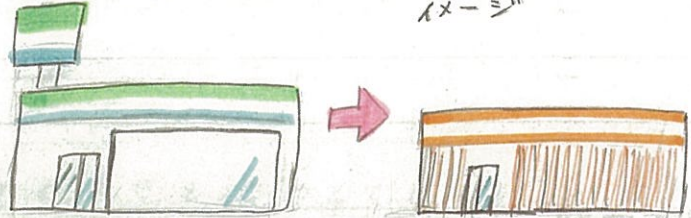
伝統的町並み区域に指定されている地区

建物 についての提案

- 家
- ・ 壁の色を目立たない色にする
- ・ 塀や柵でその地域の伝統的な特色を出す

- ・ 大きな看板を置かない
- ・ 派手な色にしない

- お店
- ・ 夜のライトの点灯などを明るすぎないものにする。
- ・ 建物の外観をその地域の伝統的な特色を表すものにする。



道路 についての提案

- ・ 電柱をうめる
- ・ 点字ブロックの黄色を、灰色や黒色にする。
- ・ 道をアスファルトにせず、石でたみにする

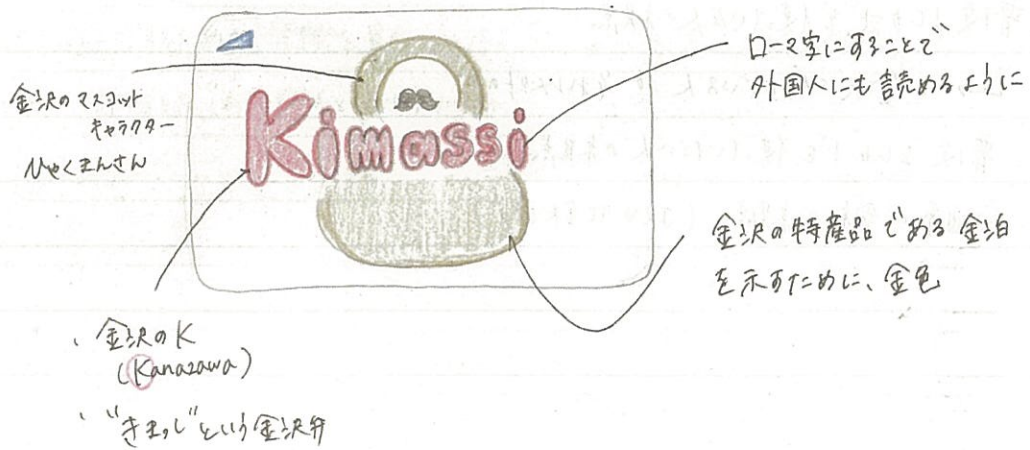
現在、すでに金沢市が一部の地域で行っている取り組みもあるが、その地域をもっと広げ、テーマパークのような地域を増やせば、京都のように観光客を呼び込めることができ、経済的にも豊かになると思う。

10年後の金沢の 交通系 ICカード "キマッシ" を提案する

☆提案内容

10年後の金沢の交通の利便性を求めて、金沢の地域性を生かした交通系ICカード "キマッシ" を提案する。

～ "キマッシ" のイメージ図 ～



○ 特徴

- ・ 全国相互利用可能
- ・ 北鉄バス・JRの両方で使用できる
 - ↳ 北鉄バスの10%還元サービスは廃止し、チャージ買い物の際に1.5%のポイント付与サービスをつける。このポイントは提携しているデパートやショッピングモールのみで利用可能
- ・ チャージは切符売り場だけでなく、コンビニなどでも可能
- ・ 発行元は北鉄バス
- ・ 将来的に、鉄道系クレジットカードも発行し、オートチャージ機能を可能に。

「 キマッシ、金沢 」
 (= Kimassi)

10年後の金沢の 寺社風景

を提案する

☆提案内容

建造物のリノベーションを行う

リノベーションとは?

建造物の基礎はそのまゝ、外装や内装などを工事すること。リフォームよりも大規模。

リノベーションを行う目的

- ① 建造してから何年もたったものには、もともと柱や壁、壁などはもろく、弱くおている。そのため、建造物を強く、丈夫で壊れにくいものにするため。
- ② 情報化、グローバル化、少子高齢化の進んだ社会で、これからの寺社風景を残していくため。社会に対応した建造物、街にするため。

リノベーションを行う時の提案

- ① 建造物などの点検 建てられてから長い年月のたった建造物などを調査・点検することで、壊れている部分、人の使用などで危険だと思われる部分を確認する。また、今一度寺社風景の特徴やつくりを学ぶ。
- ② 建造物の修理など 古くおている柱や床、床や壁などの修理を行う。新しい技術や使ったものや、新しい材料で作り代える。これからの残していくために、強く丈夫なつくりにし、壊れにくくする。(基本リノベーション)

- ③ ITや外国文化を取り入れる 今の社会のあたりまえにもおている情報化、グローバル化の要素を取り入れることで、より興味のある魅力的な建造物や街をつくる。例えば、金沢の文化やその店の特徴などを、テレビやスクリーンなどで観光客に発信する、や寺社風景のある地域内で、Wi-Fiの使えるエリアを増やすなど。

リノベーションの課題

時間がかかる点

リノベーションしている間、観光客には不便!!

費用がかかる点

リノベーションを行うとき、費用が多少かかる!!

また、外国人観光客が増えているため、店内や店外、メニューに外国語表記を取り入れたり、外国語の音声案内を使ったりする。また、内装の和のつくりは残しつつ、洋のつくりを取り入れればよいと思う。

伝統的な街並みを残し、保全につとめる

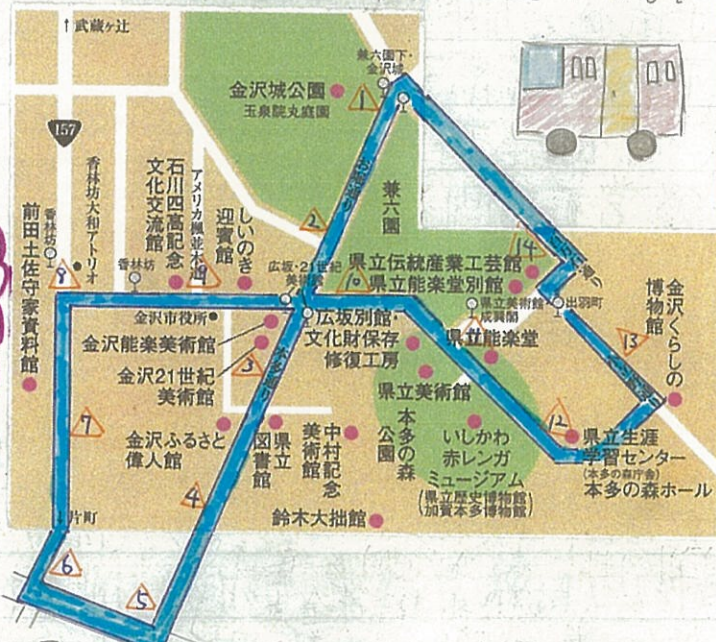
10年後の金沢の 美術館・博物館 を提案する

☆提案内容 「美術館・博物館巡り ~石川の文化、楽しみましょ!~」プラン

○金沢周遊バスのようなバスの路線に「美術館・博物館巡りコース」をつくる。下の地図の①-⑭のルートを⑧の字に通るコースで、△(バス停。約200m間隔)で停車する。バスは①②...⑬⑭の順に進み、どこで乗り降りしても良い。乗車券は大人(中学生以上)400円、子供(小学生以下)200円で、金沢周遊バスの「一日フリー乗車券」のように、券を買った日一日はバスに乗り放題である。

券は●印の施設全てで発行出来る。

乗車券のサービス
 ・二十一世紀美術館、県立美術館、しいのき迎賓館の全1のカフェ、レストランで使えるサービス券付き
 ・美術館、博物館の入館料割引



○美術館・博物館 合同企画展
 数ヶ月に一度、二十一世紀美術館、県立美術館、しいのき迎賓館が同テーマでそれぞれの美術館の良さを生かして作品を展示する。二十一世紀美術館は「スケールの大きい作品」、県立美術館は「陶器などの繊細な作品」、しいのき迎賓館は「ユニークな作品」というように、同じテーマを様々な角度から見ることによって、より日本美術を楽しめ、美術館ごとの来館者数の差も小さくなるのではないかな。

10年後の金沢の ITを生かした 国際的な情報発信を提案する

☆提案内容

ハッシュタグ 金沢 #KANAZAWA で 活発な情報発信を!!

⇒ SNSは、おそらくこれから10年をたてはさらに規模が拡大され、多くの人・場面で使われるようになる。また、多くの機能が追加されていると思う。今から金沢に関するSNSの規模を大きくし、有名にしておくことで、10年後にはさらに強力な情報発信源になるだろう。そこで、私は以下のような企画を提案します。

#KANAZAWA-PHOTO

I. おすすめ紹介で景品ゲット!!

金沢の、兼六園や金沢城はもちろんのこと、あまり知られていないお洒落なレストランや、金沢にある素敵な場所で撮った写真を、上のハッシュタグを付けて投稿する。そして、その写真のリストや、反応が多い写真に関しては、それに合わせて景品を贈る。このことで、金沢にはない名所やお店の共有ができるし、景品によって多くの投稿が見込める。(国内・国外からの観光客、さらには地元の人でも使える)

<井の存在を知らせるために...>

- 金沢にゆかりのある有名人や、訪れたアーティストに、井について自身のSNSで触れさせてもらう
- ポスターを観光案内所や観光名所に貼り、アピールする
- 周遊バスの着払いに井について書いておく

#KANAZAWA-INFO

I. ビンゴも・インフォメーションセンター。

海外からの観光客向け。金沢を観光しているときに、分からない日本語があったら、それを写真に撮ったりして投稿する。すると、外国語の分かる有志の人や、元々いるメンバーの人によって、投稿者の翻訳してくれる。また、言語だけでなく日常的に気になる人に対して、聞きにくいことなどを質問することもできる。ただ、投稿に返信する日本人も必要なので、専任の人を雇ったり、学校などでボランタリーを募り、ボランティアを集めてほしいと思う。

II A KANAZAWA A DAK

#KANAZAWA-PHOTOの中へ、(旧)のバスターミナルを紹介する。海外からの人が良く行く所を紹介することで、金沢の良い紹介になると思う。